

中加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
通学路の除草	小学校前の通学路の歩道が草ぼうぼうで通学の邪魔になっており景観上もよくない。除草体制を検討して欲しい。	県道(堀江魚津線)なので、明日現地を確認し県へ報告し対応していただくことにします。なお、早急な対応が困難である場合は市で対応を検討いたします。
滑川運動公園の整備	中途半端のまま進展していない。地権者との様々な問題もあるので一度地元で協議してくれないかという話もあったが、スポーツ・健康の森公園を運動公園として整備するのであれば運動公園という考え方ではなく新たな考え方を検討し整備を進めて欲しい。	未整備である堀江神社の上市側については当初に予定していた運動公園として整備していくことは難しいと説明させていただいております。今後は市民の皆さまに親しんでもらえるような触れ合いを基調とした公園づくりの素案を作成することとしており、その中に地域の皆さまのご意見を盛り込みたいと考えております。
公務員の残業	公務員の残業が非常に多く規制がないと報道されていた。市役所や小中学校の事務室も夜遅くまで明かりが点いており、残業が多くなっているように見受けられる。管理職がしっかり管理してローテーションを組むなど仕事にゆとりがあるような環境づくりをしていただきたい。	部署により時期的な残業や残務整理もありますので明かりが点いていることもございますが、不必要な残業はしないよう通達を発し、体調面からも極力残業はしないよう管理職が配慮しております。今後も適正な管理に努めていきたいと考えております。教職員についても膨大な国や自治体からの調査書類や残務整理などで遅くまで残っています。残業手当はありませんが、先生方の健康面からも毎日残業が続いてはストレスが溜まり、子どもたちの教育にもよくないと考えますので学校にも伝えたいと思います。
住民サービス	県内で滑川市は人口当たりの職員数が一番少ないと報道されていた。住民サービスの低下にも繋がると思うが、どのように考えているのかお聞かせ願いたい。	相当以前から当市は県下10市の中で人口当たりの職員数が一番少ない状態です。他市町村と比較すると保育所の数が少ないこと、ゴミやし尿収集などは他市町村に先駆け外部委託を行っていたことが要因の一つと考えます。また、職員数が多いだけでは十分な住民サービスはできず、職員数とサービスのバランスが重要であると考えておりますが、職員数が少なくても住民サービスの質を落とさないよう努めてまいります。
障害者のグループホーム	滑川市には障害者向けのグループホームがない。家族がいなくなったり、面倒を看れなくなった場合、障害者も家族も助かるので、滑川市にも造っていただきたい。	グループホームを含め障害者向けの施設は非常に少ない状況です。日中に軽作業のできる施設はございますが、寝泊りはできないので、そのような場合は近隣の市町村にあるグループホームなどの施設に申し込んでいただいている状況です。グループホームについては社会福祉法人などと相談はしておりますが場所の選定や費用などの問題が多数ありますのでなかなか前には進んでおりませんが、今後検討していきたいと思います。
安田工業団地の雑草対策	安田工業団地内の雑草が7月3日で1.6メートルもの背丈であった。春先から一度も除草されておらず、町内からも苦情があったため市役所に除草のお願いに行き、対処されたのは7月末であった。7月1日から10日までJAではカメムシ対策のため畦畔の除草を指導しており、工業団地周辺では水稲も作っている。少なくとも年に3回程度は水稲を考慮して草刈りを実施して欲しい。町内から高速道路の法面が除草されず、耕作者から1等から2等米になったと話がでている。市の管理する場所は適宜除草して欲しい。	予算の確保も含め来年度に向け善処したいと考えております。高速道路法面の草刈りについては農業技術者協議会で運営会社へ要望して参りたいと思います。
養鶏場建設問題	現在も養鶏場建設反対ののぼり旗が市役所やショッピングセンターに立ててある。その意味と現在の進捗状況等をお聞かせください。	タカムラが10月に造成に入ることを松倉地区に通告してきました。これまでタカムラの動きがなかったのは、国の基準の変更により昨年の10月から養鶏場を建設または養鶏数を増やしたりする場合は鳥インフルエンザに感染した鳥を埋却する土地を用意する必要があり、現在の48万羽の養鶏計画からすると国の基準で3400㎡の用地を確保する必要があります。しかしながら、松倉地区は建設反対の立場から埋却用地の提供はしないので進展しなかったものと考えております。タカムラは移動式の焼却炉で対応したいと松倉地区へ説明を行っておりますが、日本にはあまりない機材であり県や魚津市にもそのような報告はされていないと聞いております。現在も養鶏場建設計画は消えておりませんので、のぼり旗は立ててある状況です。
食育	給食の配送車に「毎月19日は食育の日」と書かれていた。市民に周知するよう取り組みなどをもっとPRしてはどうか？	国では11月19日が食育の日と定めています。毎月19日は市でPRしており、保育所などのお子さんがいるような場所でののぼり旗や講座など開催しPRしています。

中加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
高齢者対策	国の施策により療養型病床群はベッド数が抑えられ、それぞれの施設で順番待ちの状況です。そうすると在宅での介護を余儀なくさせられ、24時間対応の介護や看護が受けられなくなるのではと心配しています。今後、安心して暮らせるよう手立てが欲しいと感じます。	少子化により費用負担していただく世代が減少しているので難しい問題です。当市では時期尚早であろうと24時間対応の介護や看護は全国での取組状況を勘案したいと考えています。
市道柴常光寺線の拡幅工事	積極的に取り組んでいただいて感謝申し上げます。しかしながら、拡幅工事に伴い確定測量で0.16mの誤差が生じた。地権者や土地改良区など損得がないので残してほしくないと市へ申し入れたが拒否された。回答は必要ないので内部的に検討いただいて処理をお願いしたい。	実態を把握し内部で検討したいと思います。
小水力発電	全国的に小水力発電事業に過剰なまでの予算付けと事業実施があり心配しているが、この取組に乗り遅れる必要もない。今井川には小水力発電に適する高低差があります。市が全体の河川を把握すると共に積極的な働きかけをすることで良い結果が生まれるのではと考える。前向きな検討をお願いしたい。	土地改良事業としての小水力発電は国や県が重点的に力を入れています。現在、早月沿岸土地改良区が鋤川において小水力発電を計画しているところです。今井川についても小水力発電事業については用水を管理している土地改良区の力が必要になりますので、市も一体となって計画を進めていければと思います。
農業問題	これまで農家は用水や水門の維持管理などに大きな負担と労力と犠牲を払い農村の生活環境を維持してきた。そのお陰で浜まで用水が管理され流れることで住宅が定着し固定資産税や市民税など税収にも貢献し滑川市の経済が成り立っていると思う。しかしながら、後継者不足のため受け継いだ集落営農や中核農家にも担い手がいなくて高齢化している。今後の農業や農村の維持管理が心配である。また、これまでの農家の苦労や努力が市の発展に寄与していることを知らない市職員が見受けられるので周知すべき。	ご指摘ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
高柳常光寺線	市道になっており交付金もあるはずなのに舗装もされず何十年もほったらかしの状態であり、このまま放置されるのではないかと危惧している。具体的な計画を提示してほしい。	有金東台から柴に抜ける縦道は7mの幅員で舗装されておらず砂利道のままの状態であり、砂利を入れる程度の維持管理を行っています。今後5年を目途に完了するよう計画を立て舗装工事など実施していきます。
ひとり暮らし高齢者	8月に常光寺町内にひとり暮らしの高齢者が引っ越してきたが、近所にも挨拶に来られなかったので分からなかった。孤独死の問題もあるので、このような方が転居される場合は、行政が町内に連絡するよう指導するなど対策を講じてほしい。	今後の参考とさせていただきます。
駐在所の役割	中加積の駐在所員も各町内を巡回しており努力されていると思うが、本署にばかり行っており駐在所にいないことが多いので駐在所本来の活動が出来ていないように感じる。地域の安全を確保するためにも駐在所本来の仕事が出来るよう要望していただきたい。	本署へ要望いたします。